

■シンガポールについて■

こんにちは。

島根・ビジネスサポート・オフィス担当の藤井邦夫です。

7月は、第5土曜日がありましたので山陰同郷会に参加いたしました。バンコクには、在留邦人が多く、各地域の県人会や大学等の同窓会が開催されています。

島根県は、お隣の鳥取県と合同の県人会として山陰同郷会が第5土曜日のある月に昼のゴルフ会と夜の懇親会の2部構成で開催されています。

在タイ年数が20年近くになる方や最近タイに赴任された方、タイに進出されている中堅企業の社長、一部上場企業の役員、学生など、在タイ年数・年齢・立場が違う幅広いメンバーが山陰をキーワードに集まっています。

同郷会では、自己紹介の際は出身地と出身高校を発表し、地元トークや方言交じりのトークで盛り上がります。オフィス便りを読まれている方も是非バンコクの第5土曜日にご参加ください。お問い合わせは右記事の連絡先まで



方言混じりのスピーチで盛り上がる 山陰同郷会



鳥取県と島根県出身者、縁のある人、山陰を愛する人が集まる山陰同郷会は、このほどバンコク近郊にある「タロンゴルフビュー&スポーツクラブ」でゴルフ会を開いた。

た。初心者から上級者までの14人が集まり、「スコアより楽しいゴルフ。を合い言葉に和気あいあいとプレーした。

午後からはスクムウィット通りのソイ53にある日本料理店「いもや」で懇親会を開催した=写真。初参加12人、島根県企業のゲスト3人、島根県に留学経験のあるタイ人2人を迎えた計35名が方言混じりのスピーチなどで盛り上がり、毎回恒例である今回の幹事が次回の幹事を指名してお開きとなった。

「懇親会とゴルフ会は第5土曜日に開催しており、次回開催は10月31日ですので、ぜひ参加ください。」

問い合わせは、原さん（電話091・119・1849、メールhara@thkc.co.th）まで。

※タイ経済(2015年9月21日)の記事より

前月号に引き続き ASEAN のその他の国について記載させていただきます。今回はシンガポールについて紹介いたします。

【シンガポール基本情報】

データ出所：外務省

1. 正式国：シンガポール共和国（Republic of Singapore）
2. 人口：約 547 万人（うちシンガポール人・永住者は 387 万人）
3. 国土：約 716 平方キロメートル（東京 23 区と同程度）
4. 気候：熱帯モンスーン気候に属し、乾季と雨季に分かれる。？
乾季（11 月上旬～5 月中旬） 雨季（5 月下旬～10 月下旬）
5. 民族：中華系 74%、マレー系 13%、インド系 9%、その他 3%
6. 宗教：仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
～アセアンの統括拠点／金融のハブ～



シンガポールは、政治・社会が安定している事、英語が公用語である事、物流等の各種インフラや生活環境が整備されている事、税制上のメリットやインセンティブから金融、流通、製造業を中心に以前より多くの日本企業が進出しています。

タイに住んでいる私からすると、他のアセアン諸国とは大きく異なる国という印象があります。シンガポールへ出張に行くと、街の整備状況や清潔さに驚かされます。また、公用語が英語で各種申請や許認可に不透明さが無い事も日系企業の進出を加速させている要因です。

右の図を見て分かりますとおりアセアンの中心という地の利や税制面のメリット（低い法人税率、キャピタルゲイン課税なし）などから、日系のみならず欧米企業もシンガポールに事業統括会社を設置しています。

その反面、住環境を含めるリビングコストが日本より高い事、日本からの駐在予定者の就労ビザ取得と更新の基準が厳しくなりはじめた事が挙げられます。

～シンガポールの町並み～

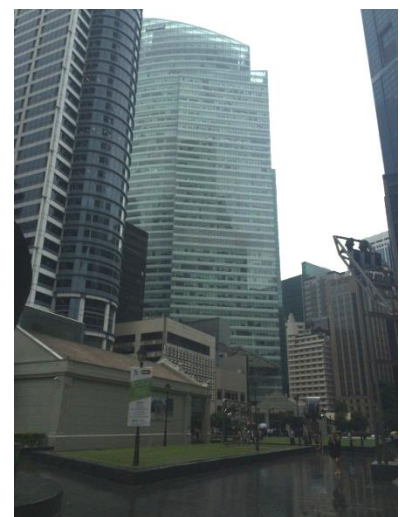
高層ビルも多く整備されています。多民族国家らしく電車のホームには複数言語が併記されていたのが印象に残りました。



シンガポールのシンボル「マーライオン」



シンガポール MRT 駅



シンガポールの高層ビル 1



シンガポールの高層ビル 2

☆☆タイから便り☆☆

～日本と違う車の名前～

タイの自動車産業は、1950年代後半に日系自動車メーカーがバンコクに進出したことをきっかけに、国外メーカーを積極的に受け入れていくスタイルで独自の発展を遂げてきました。日系企業が東南アジアにおける自動車産業のハブとしてタイに輸出拠点を構えたことから、タイ国内では日本車ブランドがすっかり定着し、今ではシェア8割を超えるほどの人気と信頼を得ています。

2015年の車名別新車販売台数のトップ10も、9位の「レンジャー」（フォード）を除き、全てが日本車で占められています。1位はトヨタの「ハイラックス」、2位はいすゞの「D-Max」、3位はトヨタの「ヤリス」です。「ヤリス」は世界戦略車で、日本での販売名は「ヴィッツ」ですが、国外では「ヤリス（YARIS）」の名称で販売されています。タイの「ヤリス」は日本の「ヴィッツ」や欧米の「ヤリス」とはモデルが異なり、他国より車体が大きい仕様となっています。タイの自動車の輸入関税は非常に高く、タイ工場で生産された自動車でも、日本の価格帯の1.5倍以上の価格で販売されています。その為、日本や欧米でセカンドカーとして購入されるコンパクトカーも、アジアにおいてはファーストカーとして購入されています。同じ車種でも販売国であるタイの市場に合わせて大人数にも対応できるようモデルチェンジされているようで、企業のマーケティング努力が伺えます。

ちなみに、10位にランクインされているホンダの「フィット」はタイでは「ジャズ」という車名で販売されています。マツダの「デミオ」は「マツダ2」、「アクセラ」は「マツダ3」。日本国内と国外で車名が異なるのは、仕様の違いの他にも、その国で持つ言葉の響きや商品登録の問題等があるようです。

タイにおける車名別自動車販売台数(2015年)

順位	メーカー	車名車種	セグメント	ボディタイプ	販売台数
1	トヨタ	Hilux	ピックアップトラック	シングル/ダブルキャブ	121,468
2	いすゞ	D-Max	ピックアップトラック	シングル/ダブルキャブ	118,708
3	トヨタ	Vitz(Yaris)	乗用車B	5ドアハッチバック	35,395
4	トヨタ	Vios	乗用車B	4ドアセダン	34,262
5	ホンダ	HondaCity	乗用車B	4ドアセダン	31,930
6	ホンダ	HR-V	SUV	5ドアハッチバック	29,243
7	トヨタ	Fortuner	SUV	5ドア7人乗ミニバン	29,222
8	三菱	Triton(L200/Strada)	ピックアップトラック	シングル/ダブルキャブ	24,754
9	Ford	FordRanger	ピックアップトラック	シングル/ダブルキャブ	23,662
10	ホンダ	Fit(Jazz)	乗用車B	5ドアハッチバック	21,231

※経済産業省 新興アジア諸国における自動車の需要動向等調査事業報告書(平成28年3月)より抜粋

島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Busuiness Support Office(Bangkok)

担当；藤井 邦夫 Kunio Fujii

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd.,Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile :+66-(0)-89-200-7763

Mail : shimane-bizsup@aapth.com



お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人(島根県より業務委託)

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

ワンページタイ経済

項目	単位	2013	2014	2015	2016
GDP 成長率	前年比ベ(%)	2.80	0.9	2.8	3.2(1~3年)
人口*	千人	68,382	67,065	67,293(12月)	67,348(3月)
労働者の数*	千人	39,808	38,963	39,165	38,024(4年)
失業率**	%	0.72	0.84	0.89	0.97(4月)
最低賃金*	バンコク	300	300	300	300
	チョンブリー	300	300	300	300
	アユタヤー	300	300	300	300
	ラヨー	300	300	300	300
賃金:全国製造業の平均	バーツ	11,066	12,074	12,305	12,213(4月)
インフレ率**	前年比ベ(%)	2.19	1.90	▲0.90	▲0.35(4月)
中央銀行政策金利*	%	2.25	2.00	1.50	1.50(5月)
普通貯金率**	%	0.68	0.59	0.56	0.47(5月)
ローン金利(MLR)**	%	7.16	6.96	6.75	6.58(5月)
SET 指数*	1975年:100	1,298.7	1,497.7	1,288.0	1,424.3(5月)
バーツ/100円**	バーツ	31.53	30.77	28.31	31.46(5月)
バーツ/米ドル**	バーツ	30.73	32.48	34.25	35.51(5月)
円/米ドル**	円	97.6	105.84	121.0	113.1(5月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	1,337,631	884,346	795,905	245,001(4月)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,016	1,662	2,237	447(5月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億バーツ	1,027.3	729.4	809.4	119.4(5月)

*期末、**平均